

(2) 教育学部における実技検査の課題・範囲

学校教員養成課程 教科教育コース（音楽教育，美術教育，保健体育）

| 区 分 | | 実 技 検 査 課 題 ・ 範 囲 | |
|------------------|----------|--|---|
| 音 楽 教 育 | 前期 日程 | <p>次のA～Cから1つを選択してください。</p> <p>A ピアノを主とするもの……………課題一覧表の(a), (e)及び(f)を課します。</p> <p>B 声楽を主とするもの……………課題一覧表の(b), (d)及び(f)を課します。</p> <p>C 任意の楽器を主とするもの……………課題一覧表の(c), (d)及び(e)を課します。</p> <p>課題一覧表</p> | |
| | | (a) ピアノ | <p>次の作曲家のピアノ作品の中から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます（ソナタの場合は、緩徐楽章を除く1つの楽章を選んでください）。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲家名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p>・ J. S. Bach ・ J. Haydn ・ W. A. Mozart ・ L. v. Beethoven ・ F. Schubert ・ F. Mendelssohn ・ F. Chopin ・ R. Schumann ・ F. Liszt ・ J. Brahms ・ C. Debussy ・ M. Ravel</p> |
| | | (b) 声 楽 | <p>次の①～⑤の中から志願者の任意選択による3曲を暗譜歌唱させます。</p> <p>①～④については、伴奏楽譜を1部提出するとともに、当日は提出した楽譜の調により原詩で歌唱してください。声域に合わせて移調しても構いません。</p> <p>⑤については、歌詞を1部提出してください。伴奏楽器はつけません。</p> <p>① Già il sole dal Gange - A. Scarlatti ② Caro laccio - F. Gasparini ③ Sebben crudele - A. Caldara ④ 浜辺の歌 - 成田為三（2番まで） ⑤ 佐渡おけさ - 日本民謡</p> |
| | | (c) 任意の楽器※ | <p>志願者の任意選択による5分程度の自由曲（複数可）を、反復を省略して暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p> |
| | | (d) ピアノ | <p>次の範囲から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲家名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p>・ バイエルピアノ教則本 Op. 101より 第74番～第106番（原書番号） ・ ソナチネアルバム1, 2（全音楽譜出版社又は音楽之友社）より ソナチネ又はソナタの1つの楽章</p> |
| | | (e) 声 楽 | <p>Concone50番練習曲（版は特に指定しません。）No. 12, 14, 18の中から1曲を当日指定し，暗譜歌唱させます。No. 12, 14, 18の伴奏楽譜を各1部提出してください。声域に合わせて移調しても構いません。唱法は，階名唱や母音唱など自由とします。当日は提出した楽譜の調で歌唱してください。</p> |
| | | (f) 任意の楽器※ | <p>志願者の任意選択による3分程度の自由曲（複数可）を暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p> |
| | | <p>※ 任意の楽器：管弦楽・吹奏楽に使用される楽器（ピアノを除く。），箏，三味線，尺八，クラシックギター，リコーダーの中から1つ。楽器は当日持参してください。</p> <p>注……………時間の関係で，演奏を途中でやめてもらうことがあります。なお，提出した楽曲は，変更できません。また，提出した楽譜は返却しません。</p> | |
| 美 術 教 育 | 前期 日程 | <p>次のⅠ・Ⅱ・Ⅲのうち，いずれかを選択してください。</p> <p>Ⅰ 静物着彩（180分） 各自用意するもの 水溶性絵の具，筆，パレット，筆洗，鉛筆，消しゴム</p> <p>Ⅱ 美術に関する小論文（120分）</p> <p>Ⅲ 臨書及び書の創作（半紙及び半切・120分） 各自用意するもの 書道用具一式</p> | |
| | 後期 日程 | <p>素描（MBM 木炭紙・180分） 各自用意するもの デッサン用具一式</p> | |

| | | | | | |
|---|----------|---|-------|--|-------|
| 保 健 体 育 | 前期 日程 | 下表のⅠ～Ⅴ群から2つの群を選び、各群の中から1種目、計2種目を選択してください。 | | | |
| | | 群 | 種 | 目 | |
| | | Ⅰ | 陸上競技 | ①ハードルと立ち5段跳 | (1種目) |
| | | Ⅱ | 水泳 | ①200M個人メドレー | (1種目) |
| | | Ⅲ | 器械運動 | 男子：①高鉄棒とマット 女子：①跳箱とマット | (1種目) |
| | | | ダンス | ①課題による創作と基礎技能 | (1種目) |
| | | Ⅳ | 球技 | ①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー ④卓球 ⑤バドミントン ⑥野球(硬式又は軟式) | (6種目) |
| Ⅴ | 武道 | ①柔道 ②剣道 | (2種目) | | |
| (注)*体操を選択する者のうち、手具や音楽を使う場合には、手具・CDを持参してください。 *卓球及びバドミントンを選択する者は、ラケットを持参してください。 *野球を選択する者は、グローブを持参してください。 *水泳及び武道を選択する者は、用具を持参してください。 *検査は、すべて屋内で実施しますので、体育館シューズを持参してください。 | | | | | |

(3) 大学入試センター試験の成績の取扱い

大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。

ただし、『「地理歴史」,「公民」』及び「理科」における取扱いは、次のとおりとします。

1. 『「地理歴史」,「公民」』における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目(第1解答科目)の成績とします。
2. 「理科」については、次のように取扱います。
 - a) 理科①(注1)から2科目及び理科②(注2)から1科目を受験した者で、「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」のいずれかの成績を用いる場合は、高得点の成績とします。
 - b) 理科②(注2)における2科目受験者の成績のうち、1科目の成績を用いる場合は、2科目受験者が最初に解答した科目(第1解答科目)の成績とします。

(※ この取扱いは、27ページ以降に記載の大学入試センター試験を課す推薦入試においても同様の取扱いとします。)

(注1) 理科①は「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」を指します。(基礎を付した科目)

(注2) 理科②は「物理」,「化学」,「生物」,「地学」を指します。(基礎を付していない科目)

(4) 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

① 相談の期限

令和2年1月20日(月)までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急③の連絡先に問い合わせてください。